

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会
ロシア東欧経済研究所

東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9
購読料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

平成6年2月15日

No. 946

1993年のロシア経済（総論）

はじめに

このほど当研究所では、1993年のロシアの経済実績を伝える資料を入手したので、抜粋して紹介する。これは、ロシア統計国家委員会の刊行した『1993年ロシアの社会・経済情勢』と題された資料である。今回はまず「総論」としてその概要を速報し、次回の「各論」で部門ごとにより詳しいデータを掲載することとする。

1993年のロシア経済は、国内総生産（GDP）が前年比マイナス12%を記録し、4年連続の大幅な下落となった。これでロシア経済は統計上、ピーク時の1989年の56%の規模にまで縮小したことになる。

たしかに、1992年の劇的な落込みに比べれば、ロシア経済の崩落にブレーキがかかりはじめているという評価もできなくはない。統計ではとらえきれない私的セクターの成長があるのも事実であろう。だが、経済の基幹をなす重工業系の国営企業やかつての集団農場などが、市場経済における当事者能力を備えた主体として再生する見通しはいまだに立っていない。国による支援以外に、これらの部門を維持するすべがないのが実状である。ガイダル、フョードロフ